# 第９期介護保険事業計画

## 令和８年度 中間評価（上半期進捗）

令和８年11月作成

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 山中 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 29 |
| 基本方針 | １　住み慣れた地域でお互いを支え合う地域社会づくり |
| 施策の方向 | ①地域包括支援センターの機能強化 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●地域包括支援センターへの相談件数の増加に対応するため、業務体制の見直しを行うとともに、人員体制を強化し、緊急時の対応、相談支援体制を整備します。<br>●高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域包括ケア推進の中核機関として位置づけ、多職種協働による地域包括支援ネットワークを構築します。 |
| 関連事業 | 地域包括センター運営事業、包括的支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ●複雑な相談業務へ対応するため、業務体制の見直しを行い、相談支援体制整備の取組を行った。<br>●人員体制については十分な確保は出来ていないが、業務軽減や多職間の地域ネットワーク構築のためＩＣＴ活用についての検討を行った。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☑ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | ・包括支援センター職員の安定的な人員体制整備のため、通年で専門職の募集をかけ、確保に務めている。看護師1名の採用へは至ったが、主任ケアマネジャーの採用はできなかった。 |
| 下半期の具体的対応・改善策 | ・地域包括支援センターの介護支援専門員等の人員確保が充分できていない状況であり、専門職の確保が喫緊の課題である。引き続き確保に努める。<br>・ICT等を活用し事務作業の効率化を図るため、関係機関と情報共有や検討を行っていく。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 山中・中島 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 30 |
| 基本方針 | １　住み慣れた地域でお互いを支え合う地域社会づくり |
| 施策の方向 | ② 地域ケア会議の推進 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●個別事例の検討において行う課題分析やケアマネジメント支援の積み重ねを通じて、地域に共通する課題や有効な支援策を明らかにし、地域に不足する資源の開発や有効な支援策の普遍化等について検討していきます。<br>●生活支援コーディネーター及び協議体等が把握している高齢者の生活支援等のニーズの結果と照らし合わせながら、具体的な施策につなげていきます。<br>●介護予防のための個別ケア会議に関しては、多職種のネットワーク構築を進め、ケアマネジメントの質の向上に取り組みます。 |
| 関連事業 | 地域ケア会議推進事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・高齢者支援協議会を地域ケア会議と位置づけており、行政と地域包括支援センターとで参加し、各地域の協議会と気になる高齢者の情報共有や生活支援等のニーズの把握を行った。<br>・自立支援に向けた介護予防のための個別ケア会議に関しては、多職種のネットワーク構築を進め、ケアマネジメントの質の向上に取り組んだ。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 包括ケア会議の開催回数 | 1回 | － | ０回 |
| | 地域ケア会議の開催回数 | 35回 | － | 3回 |
| | 地域ケア個別会議の開催回数 | 6回 | 3回 | 3回 |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☑ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | ・協議会の開催はしているものの、行政との情報共有（地域ケア会議）を行う協議会が少ない。 |
| 下半期の具体的対応・改善策 | ・機会をとらえ、行政や地域包括支援センターとの情報共有（地域ケア会議）の開催について、周知していく。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 中島 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 30 |
| 基本方針 | １　住み慣れた地域でお互いを支え合う地域社会づくり |
| 施策の方向 | ③ 地域共生社会の実現に向けた取組（ア 高齢者台帳の整備） |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●高齢者支援協議会や各種サロン団体等から、見守りが必要な高齢者、生活支援が必要な高齢者等、気になる高齢者の情報を収集し管理します。<br>●地域の高齢者の情報を適切に共有できる体制を整備し、各関係機関が地域ケアのネットワークの構築を図り、効果的に活用していきます。 |
| 関連事業 | 地域ケア会議推進事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・高齢者支援協議会へ参加し、見守りや生活支援が必要な高齢者、気になる高齢者の情報を収集し、必要な時に活用できるよう管理を行った。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | ・協議会の開催はしているものの、行政・地域包括支援センターとの情報共有（地域ケア会議）を行う協議会が少ない。 |
| 下半期の具体的対応・改善策 | ・機会をとらえ、行政や地域包括支援センターとの情報共有（地域ケア会議）の開催について、周知していく。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 山中 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 31 |
| 基本方針 | １　住み慣れた地域でお互いを支え合う地域社会づくり |
| 施策の方向 | ③ 地域共生社会の実現に向けた取組（イ 生活支援コーディネーターの配置） |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●すべての日常生活圏域に生活支援コーディネーターを配置し、日常生活調査や高齢者支援協議会との連携により、高齢者支援のニーズ及び地域資源を把握し、生活支援・介護予防の基盤整備を推進していきます。 |
| 関連事業 | 生活支援体制整備事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | 生活支援体制整備業務を社会福祉協議会とNPO法人に委託しており、生活支援コーディネーターを確保することができた。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 生活支援コーディネーターの配置数 | ３人 | 3人 | 4人 |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☑ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | |
| 下半期の具体的対応・改善策 | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 山中・佐々木・日髙・古川 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 34 |
| 基本方針 | ２　認知症施策の総合的な推進 |
| 施策の方向 | ① 認知症に関する理解促進 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●認知症になっても、本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう地域住民や関係機関等に認知症に関する正しい知識の普及啓発や認知症の方の意思決定支援、認知症の方本人からの発信支援に取り組みます。また、予防を含めた認知症への「備え」としての取組を推進していきます。<br>●幅広い世代・団体へ認知症サポーター養成講座の周知を行うとともに、チームオレンジを設置し、地域での見守りや傾聴、認知症カフェの開催、参加など具体的な活動へつなげていきます。 |
| 関連事業 | 認知症総合支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・認知症に関する理解促進のためイベントにて普及啓発を行った。<br>・認知症に関する普及啓発や正しい理解促進のため、市民と庁内職員向けに認知症サポーター養成講座を３回開催した。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | |
| 下半期の具体的対応・改善策 | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 日髙（翔） |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 35 |
| 基本方針 | ２　認知症施策の総合的な推進 |
| 施策の方向 | ② 早期発見・早期対応システムの充実（ア 認知症初期集中支援チームの設置） |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●介護予防把握事業や高齢者支援協議会からの情報等から早期に対象者を把握し、必要に応じて認知症初期集中支援チームにつなげます。また、認知症初期集中支援チームの初動対応までの流れを見直し、より早期対応につなげていきます。<br>●認知機能低下のある方（軽度認知障がいを含む）や認知症の方に対して、早期発見・早期対応が行えるよう、かかりつけ医、地域包括支援センター、認知症地域支援推進員、認知症初期集中支援チーム、認知症疾患医療センター等の更なる質の向上や連携の強化を推進していきます。 |
| 関連事業 | 認知症総合支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | 認知機能の低下や認知症の方に対してチームとして介入し、必要と思われる医療や介護につなげている。定期的に会議を開催し、対象者の早期発見・早期対応に努めている。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 認知症初期集中支援チーム員会議の開 | 12回 | 6回 | 6回 |
| | 認知症初期集中支援チーム検討件数 | 40件 | 20件 | 8件 |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | |
| 下半期の具体的対応・改善策 | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| **担当者名** | 古川 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 35 |
| **基本方針** | ２　認知症施策の総合的な推進 |
| **施策の方向** | ② 早期発見・早期対応システムの充実（イ 認知症高齢者見守りネットワーク事業の推進） |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●増え続ける認知症高齢者等の徘徊や不慮の事故に対処するため、各関係団体や地域における高齢者支援協議会等、関係機関が協力してネットワークを構築し、認知症高齢者等の早期発見と保護、徘徊の予防等の支援を行う地域における見守り体制を整備します。<br>●認知症高齢者の見守りに関して、GPS 等の探知システムの活用を検討していきます。 |
| **関連事業** | 生活支援体制整備事業、認知症総合支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | 認知症高齢者見守りネットワーク台帳の登録者の見直しを行い、警察や消防、高齢者支援協議会会長と情報共有を行った。事業内容周知のためチラシを作成し、市内居宅介護支援事業所へ配布した。 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 見守り台帳登録者数 | 10人 | 5人 | 5人 |
| | | | | |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☑ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | |
| **下半期の具体的対応・改善策** | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| **担当者名** | 日髙（翔） |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 36 |
| **基本方針** | ２　認知症施策の総合的な推進 |
| **施策の方向** | ③ 認知症の方とその家族への支援 |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●認知症の方の介護者の負担軽減や生活と介護の両立が図られるよう、認知症の方及びその介護者が集う認知症カフェ等の取組を推進します。また、安定した認知症カフェの運営ができるよう周知や実施主体者の意見交換の場を設け継続して支援していきます。<br>●認知症カフェに参加しにくい地域を対象に、巡回型の認知症カフェを実施していきます。 |
| **関連事業** | 認知症総合支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | 地域包括支援センターや認知症疾患医療センターが中心となり認知症カフェを開催した。巡回型の認知症カフェについても計画中。 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 認知症カフェ設置箇所数 | 5箇所 | 3箇所 | 2箇所 |
| | | | | |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | |
| **下半期の具体的対応・改善策** | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| **担当者名** | 古川 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 36 |
| **基本方針** | ２　認知症施策の総合的な推進 |
| **施策の方向** | ④ 認知症バリアフリーの推進・若年性認知症の方への支援 |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●生活のあらゆる場面で、認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けていくための障壁を減らしていく「認知症バリアフリー」の取組を推進していきます。<br>●認知症の方が安心して外出できる地域の見守り体制の構築、成年後見制度の利用促進など地域における支援体制の整備を推進していきます。<br>●若年性認知症の方への支援や認知症の方の社会参加活動を促進していきます。<br>●認知症サポーターを対象に様々な支援の場の情報提供を行い、認知症の方や家族の支援ニーズに沿った具体的な活動へ繋げるともに、チームオレンジとして地域における支援体制を整備します。 |
| **関連事業** | 認知症総合支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | 認知症に関する普及啓発や正しい理解促進のため、市民と庁内職員向けに認知症サポーター養成講座を３回開催した。 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 認知症サポーター養成講座の開催 | 5回 | 3回 | 3回 |
| | 認知症サポーター登録者数 | 2,560人 | 2,500人 | 1,950人 |
| | チームオレンジ設置数 | 1チーム | 1チーム | 1チーム |
| **③進捗度評価** | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | 認知症サポーター登録者数については、登録者の整理を行ったことにより減少となっている。 |
| **下半期の具体的対応・改善策** | 引き続き、認知症サポーター養成講座を開催し、認知症についての普及啓発や理解促進に努める。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 山中 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 37 |
| 基本方針 | ３　在宅医療・介護連携の推進 |
| 施策の方向 | ① 地域住民への普及啓発 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●市民講座等で医療及び介護サービス、在宅医療や看取りに対しての理解を深めてもらうとともに、在宅医療に関わるサービス情報等をわかりやすく広報誌やホームページで周知します。 |
| 関連事業 | 在宅医療・介護連携推進事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・通いの場で終活カウンセラーによる「エンディングノートについて」講話を行い普及併発を行った。<br>・市のホームページやお知らせ版等で広報し、どなたでも活用できるようにエンディングノートの配布を行った。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 在宅医療に関する普及啓発活動回数 | 3回 | 2回 | 4回 |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☑ | S．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | A．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | B．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | C．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | |
| 下半期の具体的対応・改善策 | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 山中・佐々木 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 38 |
| 基本方針 | ３　在宅医療・介護連携の推進 |
| 施策の方向 | ② 医療・介護関係者の研修 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●多職種研修会を実施し、多職種によるグループワーク、事例検討を通じて、看取りに関する取組や、地域における認知症の方への対応力を強化していきます。 |
| 関連事業 | 在宅医療・介護連携推進事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・介護・医療関係者向けに多職種研修会「認知症に関する研修会」を開催し、多職種間のネットワーク構築及び知識の向上をに努めた。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 多職種研修会の実施回数 | 2回 | 1回 | 1回 |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | |
| 下半期の具体的対応・改善策 | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 山中・佐々木 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 38 |
| 基本方針 | ３　在宅医療・介護連携の推進 |
| 施策の方向 | ③ 医療・介護関係者の情報共有の支援 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●在宅医療の充実、医療・介護等の連携体制の強化を図り、高齢者を地域で支えるために必要な入院時の情報共有、退院支援、日常の療養支援、急変時の対応、看取り等、様々な局面での連携を推進します。 |
| 関連事業 | 在宅医療・介護連携推進事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・合同会議については上半期は未実施。ACP連携含め、医療介護連携に向けての、合同会議を2回程度実施予定（11月・3月） | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 介護・医療合同会議の実施回数 | 2回 | 0回 | 0回 |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | |
| 下半期の具体的対応・改善策 | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 中島 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 46 |
| 基本方針 | ４　自立支援、介護予防・重度化防止への取組の推進 |
| 施策の方向 | ③介護予防・日常生活支援総合事業の推進（ア 介護予防・生活支援サービス事業の充実） |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●要支援者及び総合事業対象者に対して、その方の心身の状況、置かれている環境その他の状況に応じて、適切なサービスが提供できるよう支援するとともに、通所型サービスB や訪問型サービスD 等新たなサービスの検討を行います。 |
| 関連事業 | 通所型サービス、訪問型サービス、生活支援サービス、介護予防ケアマネジメント |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 通所介護相当サービス | 1,000人 | 500人 | 423人 |
| | 通所型サービスＡ（緩和した基準によ | 800人 | 400人 | 258人 |
| | 通所型サービスＣ（短期集中予防サー | 100人 | 50人 | 39人 |
| | 訪問介護相当サービス | 800 人 | 400人 | 207人 |
| | 訪問型サービスＣ（短期集中予防サー | 1人 | 1人 | 0人 |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☑ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | 数値的にみると未達となるが、通所型サービスCは年々増加傾向であったり、訪問介護については、ヘルパー不足もあるが、その分有償ボランティアで補っていたりと、利用者のニーズに合わせたサービスの提供が行われている。 |
| 下半期の具体的対応・改善策 | 人材不足は、介護事業所だけでなく地域の支援者等、さまざまな分野で共通の課題である。そのため、新たなサービスの構築ではなく、今あるサービスを利用者がより使いやすく、また受けたいサービスを受けられるような体制が継続できるよう支援していく。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 山中・中島・佐々木・遠藤・古川 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 46 |
| 基本方針 | ４　自立支援、介護予防・重度化防止への取組の推進 |
| 施策の方向 | ③介護予防・日常生活支援総合事業の推進（イ 一般介護予防事業の充実） |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●地域住民や事業者など地域全体への自立支援・介護予防に関する普及啓発、介護予防の通いの場の充実、リハビリテーション専門職等の派遣等、高齢者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように支援していきます。<br>●国保データベースデータを活用し、医療と介護の総合的な視点から事業評価を実施します。<br>●自立支援へ向けて専門職の助言を生かせるよう地域リハ事業内容を関係事業所へわかりやすく周知し、活用に向けて働きかけていきます。<br>●種子島スタディの取組については、引き続き鹿児島大学と連携を取り、その分析結果から口腔機能向上や低栄養防止に係る活動へと繋げていきます。 |
| 関連事業 | 介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業、介護予防把握事業、一般介護予防事業評価事業、地域リハビリテーション活動支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・認知症予防の取組として簡単な読み・書きや計算等を仲間と一緒に楽しみながら行う「脳の健康教室」を開催した。また、広く市民向けに体験会も開催した。<br>・今年度80歳になる方へ実態調査を行い、早い段階で介護予防につなげ、困りごとの支援につなげた。<br>・各地域の介護予防体操に理学療法士や健子運動指導士が巡回し、助言や個別指導を行った。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | ・種子島スタディの取組について、鹿児島大学の体制が整わず未実施となっている。<br>・脳の健康教室参加者は11名であり予定より少なかった。 |

| | |
|---|---|
| **下半期の具体的対応・改善策** | ・種子島スタディについては、来年度実施に向けて、協議を行う。<br>・脳の健康教室は、教室開催を継続しながら来年度に向けて地域での開催も検討する。選定地域についてはＫＤＢデータの活用や高齢者実態把握調査の結果をもとに分析する。既存の体操・サロンの場を活用するとともに新規参加者を募る。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 佐々木 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 47 |
| 基本方針 | ４　自立支援、介護予防・重度化防止への取組の推進 |
| 施策の方向 | ④ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●高齢者の心身の多様な課題に対し、後期高齢者の保健事業と介護予防との一体的な取組を実施することで、フレイル（虚弱）の進行防止、健康寿命の延伸を目指します。<br>●国保データベースデータと介護データを分析し、地域の実情に合わせた保健事業が展開できるよう、健康保険課と連携を図ります。<br>●重症化予防のための個別アプローチに取り組むことで健康寿命の延伸を目指します。 |
| 関連事業 | 後期高齢者保健事業、介護予防支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | 9月から、各部門の支援体制の共有や支援者間の連携強化のため月1回の健康保険課との合同ミーティングを開始した。ミーティング内では支援状況の共有やより充実した個別支援を展開するため、各部門からの同行訪問・個別支援を提供している。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☑ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | 地域包括支援センター・健康保険課が同じ時期に同じ対象者に重複して介入した。また、各部門の役割や支援体制を十分に把握できていなかったことで円滑な支援に結びつかなかった。情報共有の場がないことで進捗状況が把握できていない。<br>KDBを活用したデータ分析が実施できていない。 |
| 下半期の具体的対応・改善策 | 定期的なミーティングをすることで効果的な支援体制を確立する。支援者間の役割分担について共有し、必要な支援がタイムリーに実施できるよう検討を重ねる。<br>KDBデータ及び高齢者の実態把握調査結果をもとに、地域における健康課題について把握して健康保険課と共有する。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 中島・山中・古川 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 47 |
| 基本方針 | ４　自立支援、介護予防・重度化防止への取組の推進 |
| 施策の方向 | ⑤ 保険者機能強化推進交付金等を活用した施策の充実・推進 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●地域高齢者の健康づくりやフレイル予防のための支援、認知症高齢者家族及び認知症予防支援、独居高齢者や老老介護世帯の増加への対応が急務であることから、保険者機能強化推進交付金等を活用し、高齢者の自立支援・重度化防止の支援の充実を図ります。<br>●前期高齢者（65 歳～74 歳）からフレイル予防に取り組むことの重要性を広く周知するため、各地域で体力測定や元気アップ体操の体験会を開催し、介護予防の意義について普及を図ります。<br>●多職種連携を推進するために、地域ケア会議等からのネットワーク構築を進めていきます。また、地域課題から具体的な施策へとつなげていきます。 |
| 関連事業 | |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・地域ケア会議を3回、地域ケア個別会議を3回開催した。<br>・地域での元気アップ体操のフォローを行った。また、今年は元気アップ体操開始から10年目を迎え、その評価を実施した。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因（100文字程度） | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/介護保険係、高齢者支援課/高齢者支援係 |
| **担当者名** | 山中・遠藤 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 48 |
| **基本方針** | ４　自立支援、介護予防・重度化防止への取組の推進 |
| **施策の方向** | ⑥ リハビリテーションサービス提供体制構築のための取組 |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●地域包括ケア「見える化」システム等のデータを活用し、地域の実情に応じたリハビリテーションサービス提供体制のあり方やその実現のための具体的な取組について検討していきます。<br>●県や医師、看護師、リハビリテーション専門職等と連携を図り、リハビリテーションサービス提供体制の構築に向けた取組を推進します。<br>●多職種研修などで異職種間でのリハビリテーションについての意見交換などを行い、重要性や効果的な利用方法を協議します。 |
| **関連事業** | |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | ・介護予防体操を実施するグループに理学療法士を派遣し、体操の姿勢の確認や個別相談・個別指導を行った。 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | |
| **下半期の具体的対応・改善策** | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/高齢者支援係、高齢者支援課/介護保険係 |
| **担当者名** | 中島・古川・水口 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 53 |
| **基本方針** | ５　日常生活を支援する体制の整備 |
| **施策の方向** | ① 在宅生活を支援するサービスの充実 |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●地域における高齢者の安否確認や緊急時の対応を図るため、ひとり暮らしや高齢者のみの世帯に対し、緊急通報装置の設置を行います。高齢者支援協議会や各種サロン団体等地域の支援者や民生委員、ケアマネジャー、市民へ通報装置について周知を図り、必要な高齢者の情報を得ながら設置につなげます。<br>●要介護者等が在宅での生活が行えるよう実施する住宅改修に関し、介護支援専門員等の専門職による理由書作成に対し助成を行います。<br>●障がい及び疾病等の理由により調理等が困難な方へ高齢者等配食サービスを実施します。配達の際の安否確認は、利用者本人、家族、ケアマネジャー等と意見交換しながらより良い方法で引き続き実施していきます。 |
| **関連事業** | 地域自立生活支援事業、住宅改修支援事業、高齢者等配食サービス事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | ・令和８年度９月末現在で緊急通報システムの設置台数は33台となっている。<br>・高齢者等配食サービスについては、物価高騰対策のため、１食あたりの委託料を300円から350円に増額した。<br>・歩くことが困難になってきた方や、運転免許を返納した高齢者等の移動手段を確保するとともに、社会参加や外出を積極的に行ってもらうことで、要支援や要介護状態になることを予防するため、令和８年度からおでかけ券交付事業を実施している。対象は、市内に住所を有する75歳以上の方で、交付額は5,000円（500円×10枚）となっている。９月末までに1,096名（35.97%）の方が申請され、636名（58.03%）の方が2,089,500円利用している。<br>・要介護者等が在宅での生活が行えるよう実施する住宅改修に関し、介護支援専門員等の専門職による理由書作成に対し助成を行う。 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 通報装置設置台数 | 70台 | 70台 | 33台 |
| | 理由書作成助成の申請件数 | 10件 | 5件 | 1件 |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☑ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | ・緊急通報システムについては、希望者には全て設置しているが、施設入所や死亡、固定電話の解約等により廃止も増え、設置台数が減少傾向にある。<br>・おでかけ券交付事業については、市民の事業内容の認識の相違、交付金額や地域間での公平性に関する意見や要望が寄せられており、事業内容の理解促進や周知が課題となっている。<br>・要介護認定者のほとんどはケアマネジャーが担当しているため、申請自体が少ない。 |
| **下半期の具体的対応・改善策** | ・緊急通報システムについては、引き続き、周知・広報をしていくが、今後は事業の見直しや新たな見守りシステムの導入等検討をしていく必要がある。<br>・おでかけ券交付事業については、社会参加を促進できるような施設等への利用を来年度に向けて検討していく。また、事業内容の理解促進や周知・広報を行っていく。<br>・下半期も継続するが、第10期計画では申請件数も検討する必要がある。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/高齢者支援係、高齢者支援課/介護保険係 |
| **担当者名** | 内村 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 54 |
| **基本方針** | ５　日常生活を支援する体制の整備 |
| **施策の方向** | ② 家族介護者への支援（ア 介護に係る経済的負担の軽減） |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●在宅で寝たきりや認知症の高齢者を介護している家族に対して、介護手当を支給し、家族介護者の経済的負担を軽減します。<br>●在宅で寝たきりや認知症の高齢者や重度心身障がい者（児）を介護している家族に対して、紙おむつを支給し、家族介護者の経済的負担を軽減します。 |
| **関連事業** | 在宅高齢者等自立支援事業、低所得者利用者負担助成事務、家族介護用品支給事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | ［介護手当］要介護高齢者または重度認知症高齢者を在宅で介護しているものに支給。<br>［紙おむつ］要支援・要介護認定者で常時紙おむつを必要とするものに紙おむつ受給券を支給。 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 介護手当支給人数 | 90人 | 0 | 0 |
| | 紙おむつ支給人数 | 620人 | 310 | 413 |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | ［介護手当］支給要件を満たす要介護者については概ね申請されている状況。上半期のサービス利用や入院実績をもとに10月支給するため実績は0となっている。<br>［紙おむつ］令和９年度から地域支援事業による支給ができなくなる方向だと国から通知があったものの、正式な決定の通知が無い状態。令和９年度以降の事業継続か否かの判断をする必要がある。 |
| **下半期の具体的対応・改善策** | ［介護手当］介護保険サービス利用や入院実績をもとに10月、４月支給予定。<br>［紙おむつ］令和８年度までの支給実績等を分析し、令和９年度以降の事業継続か否かの判断をする。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/高齢者支援係、高齢者支援課/介護保険係 |
| **担当者名** | 古川 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 54 |
| **基本方針** | ５　日常生活を支援する体制の整備 |
| **施策の方向** | ② 家族介護者への支援（イ 介護者への支援相談） |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●在宅で寝たきりや認知症の高齢者を介護している家族に対して、健康相談や交流会等を通じて心身のリフレッシュを図る機会の充実に努めます。また、ヤングケアラーについても、関係機関と連携し支援を行っていきます。<br>●総合相談による家族からの介護相談を通じて案内・周知へつなげていきます。<br>●家族介護者交流支援事業では、できるだけ多くの介護者がリフレッシュを図れるよう、日程調整など参加しやすい環境の整備を行います。<br>●ホームページやSNS 等の活用をしながら、介護と就労に関する相談の場でもあるハローワークと連携を図り、新たな参加者が集う働きかけに努めます。また、在宅介護者が参加しやすい環境の整備やニーズに沿った内容を引き続き提供します。 |
| **関連事業** | 介護予防事業（家族介護継続支援事業） |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | 家族介護者交流会「ひなたぼっこの会」を１回開催した。内容は防災士による講話で、３名の参加があった。参加者を確保するため、令和８年度からチラシの全戸配布やQRコードからの申込受付を行った。 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☐ | S．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | A．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☑ | B．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | C．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | チラシの全戸配布、窓口でのチラシ掲示、関係機関・お知らせ版・SNS・防災ラジオでの周知を図ったが、参加者の増加には繋がっていない。１回目に予定していた、リフレッシュ体操及び交流会は参加者がいなかったため中止となった。 |
| **下半期の具体的対応・改善策** | 引き続き、周知・広報やQRコードからの申込受付を行い、参加者の確保に努める。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 日髙・古川 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 55 |
| 基本方針 | ５　日常生活を支援する体制の整備 |
| 施策の方向 | ③ 高齢者の虐待防止と権利擁護の取組の推進（ア 高齢者虐待に関する相談・支援） |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●高齢者虐待や権利擁護に関する相談について、関係機関と連携して必要な支援を検討します。また、必要に応じて、心理カウンセラーによる相談会を案内します。高齢者や介護をしている家族などの相談者に対する助言や情報提供等を行うなど、高齢者等が利用しやすい相談体制の充実に努めます。<br>●養護者に該当しないものによる虐待やセルフ・ネグレクト等の権利侵害の防止にも取り組みます。<br>●相談窓口に関してあらゆる機会を通じて周知します。 |
| 関連事業 | 包括的支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | 高齢者虐待や権利擁護に関する相談は２件あった。コアメンバー会議や事実確認を迅速に行い、関係機関と連携しながら対応の終結に向けて取り組んだ。 | | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| ③進捗度評価 | ☑ | Ｓ．順調（目標達成） | | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | |
| 下半期の具体的対応・改善策 | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 日髙（翔） |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 55 |
| 基本方針 | ５　日常生活を支援する体制の整備 |
| 施策の方向 | ③ 高齢者の虐待防止と権利擁護の取組の推進（イ 成年後見制度の周知と利用促進） |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●成年後見制度について、対象者やその家族等に応じた情報共有を行うとともに、広く市民にも制度への理解・定着が図られるよう広報・啓発に取組みます。<br>●制度の利用が必要と認められる方で、本人や親族等による申立てができない方や、申立費用等の支払が困難な状況にある方には、制度利用に係る市長申立や費用の助成などの支援を行います。<br>●成年後見制度について、研修会の実施や他機関との連携・情報共有を図ることで、専門職の質の向上および地域住民への周知・啓発につなげます。<br>●先進地の取組等も参考にし、中核機関の機能強化に努めます。 |
| 関連事業 | 成年後見制度利用支援事業、地域生活支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | 成年後見制度市長申立てに関する検討を行った。また、地域サロンにて制度への理解、広報、啓発のため講話を計画。 | | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | S．順調（目標達成） | | | |
| | ☑ | A．概ね順調（80%以上） | | | |
| | ☐ | B．少し未達（50～79%） | | | |
| | ☐ | C．大幅未達（50%未満） | | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | |
| 下半期の具体的対応・改善策 | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 健康保険課/健康増進係、高齢者支援課/介護保険係 |
| **担当者名** | 秋山 |

## １．基本情報

| 項目 | 記載内容（簡潔に記入してください） |
|---|---|
| **関連ページ** | 56 |
| **基本方針** | ５　日常生活を支援する体制の整備 |
| **施策の方向** | ④ 安心・安全な暮らしの確保（ウ 感染症対策の推進） |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●介護事業所等と連携し、感染症発生時に備えた平時からの事前準備、感染症発生時の代替サービスの確保に向けた連携体制の構築を図ります。また、介護事業所等が感染症発生時においてもサービスを継続するための備えが講じられているかを定期的に確認するとともに、県や保健所、協力医療機関等と連携した支援体制を関係部署と連携し整備を行います。<br>●日々の感染状況を把握し、変異株などの動向にも注視しながら、今後も必要に応じた速やかな感染対策及び適切な周知を図っていきます。 |
| **関連事業** | 感染症予防対策事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | ・運営指導で業務継続計画（BCP）の策定、従業者への周知、研修・訓練の実施状況の確認を行い、必要に応じて指導を実施<br>・集団指導でBCPの策定義務について継続的な周知 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | |
| **下半期の具体的対応・改善策** | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/高齢者支援係、高齢者支援課/介護保険係、地域支援課/協働推進係 |
| **担当者名** | 秋山、古川 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 57 |
| **基本方針** | ５　日常生活を支援する体制の整備 |
| **施策の方向** | ⑤ 住まい環境の充実・推進（イ 安心できる住まいの確保） |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●多様な介護ニーズの受け皿となっている有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の入居定員数を把握するとともに、県と連携し情報の共有を図り、高齢になっても安心して暮らせる仕組みづくりを実施していきます。<br>●市内の賃貸ができる空き家を市の空き家バンクに登録していただくことで、当該物件の情報を移住希望者や市民に広く提供し、空き家の有効活用により定住人口の増加を図り、地域活性化につなげていきます。また、空き家バンク物件登録を増やすための施策である空き家バンクリフォーム補助事業について、強化策を検討します。 |
| **関連事業** | 老人保護措置事務、有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の情報共有、空き家バンク事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | 養護老人ホームへ入所措置を行った。新規入所２名、退所２名。 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 有料老人ホーム | 5 棟<br>45 人 | 5 棟<br>45 人 | 5 棟<br>45 人 |
| | サービス付き高齢者向け住宅 | 1 棟<br>13 人 | 1 棟<br>13 人 | 1 棟<br>13 人 |
| **③進捗度評価** | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | |
| **下半期の具体的対応・改善策** | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 遠藤・古川 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 62 |
| 基本方針 | ６　生きがいづくりや社会参加の促進 |
| 施策の方向 | ① 社会参加の促進と活動機会の充実（イ 地域貢献・交流活動への参加促進） |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●地域の高齢者等が実施する元気アップ体操（介護予防体操）に対し地域商品券と交換できるポイントを交付することで、高齢者の社会参加、生きがいづくりを促進します。<br>●元気アップ体操を実施する通いの場には、継続した運営ができるよう専門職（健康運動指導士・管理栄養士）が出向き、体操に関する的確な助言やミニ健康講話を実施することで、支援者の負担軽減につなげます。また、あらゆる機会を通じて体操体験会などを開催し、新規会員の加入を促します。<br>●敬老の日記念事業について、長寿を祝う会の対象者だけでなく、より多くの市民によって長寿を祝えるよう開催日時や開催内容を工夫し、健康長寿や介護予防への市民の気運を高める機会とします。<br>●老人クラブ育成事業について、提出書類の簡素化などによる役員の負担軽減を図ることで新規会員を増やし、老人クラブの活発な活動につなげて高齢者の生きがいづくりを推進します。<br>●高齢者地域支え合いグループポイント事業、元気度アップ・ポイント事業について、報告様式の簡素化等により、支援者の負担軽減を図り、団体の発足、継続が容易にできるよう工夫します。また、ポイント付与に係る研修会を実施し、より丁寧に仕組みを説明していきます。 |
| 関連事業 | 敬老の日記念事業、老人クラブ育成事業、高齢者地域支え合いグループポイント事業、元気度アップ・介護人材確保ポイント事業） |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・敬老の日記念事業「長寿を祝う会」を９月18日に開催し、88歳対象者134名のうち42名の参加があり、過去最高の参加者数となった。<br>・いきいき遊湯クラブ推進事業については、参加者数が伸び悩んでいたことから、事業を廃止し、移動手段の確保と介護予防を目的として、タクシー運賃と温泉入浴料に使える「おでかけ券交付事業」を令和８年度から開始した。<br>・地域の高齢者等が実施する元気アップ体操（介護予防体操）やグループ活動に対し地域商品券と交換できるポイントを交付した。<br>・支援者研修会では、レクリエーション体験や防災士による講話、認知症サポーター養成講座を３回実施し、支援者として必要な知識や技術の習得に繋がった。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 元気アップ体操の実施箇所数 | 60 箇所 | 55箇所 | 53箇所 |
| | 元気アップ体操に参加する高齢者の数 | 1200人 | 1,000人 | 986人 |
| | いきいき遊湯クラブ実施回数 | 50 回 | 廃止 | - |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | ・長寿を祝う会について、88歳の対象者を10月1日から9月30日生まれとしているため、同級生と参加できないとの声がある。<br>・老人クラブについて、市老人クラブ連合会に加入した単位老人クラブが、令和8年度は5団体と昨年度から6団体減となり、クラブ数の減少に歯止めがかからない。<br>・おでかけ券交付事業については、市民の事業内容の認識の相違、交付金額や地域間での公平性に関する意見や要望が寄せられており、事業内容の理解促進や周知が課題となっている。 |
| **下半期の具体的対応・改善策** | ・長寿を祝う会については、対象者を年度で区切るように見直すことで、同級生で参加できるようにし、より多くの対象者に参加してもらえるよう、来年度に向けて検討していく。<br>・老人クラブについては、提出書類の簡素化等、継続支援に努めていく。<br>・おでかけ券交付事業については、社会参加を促進できるような施設等への利用を来年度に向けて検討していく。また、事業内容の理解促進や周知・広報を行っていく。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 中島 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 63 |
| 基本方針 | ６　生きがいづくりや社会参加の促進 |
| 施策の方向 | ② 地域における支援者の人材確保・育成（ア 高齢者支援協議会の設置推進） |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して自立した生活ができるよう、地域における住民相互の支え合い体制を構築するため、高齢者支援協議会の設置を推進します。<br>●地域の人材だけで支援者確保は限界のため、地域をまたいだ支援者活動について検討していきます。また、各協議会が年に1 回以上開催できるよう、生活支援コーディネーターが中心になって、支援者を確保していきます。 |
| 関連事業 | 生活支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・高齢者支援協議会の存在や意義を広く知ってもらうために、生活支援コーディネーター新聞に、協議会に関する内容を掲載し、全戸配布した。<br>・新規設立の協議会へ委託内容等の説明を行った。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | |
| 下半期の具体的対応・改善策 | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 古川 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 63 |
| 基本方針 | ６　生きがいづくりや社会参加の促進 |
| 施策の方向 | ② 地域における支援者の人材確保・育成（イ 支援者・地域支え合い推進員の育成・研修の充 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●高齢者が、生き生きと暮らすために地域活動の支援を行えるよう、「支援者」を育成するための研修を行います。また、認知症高齢者・ひとり暮らし高齢者など、支援が必要な高齢者を見守り、安心して暮らしていけるような支援を行えるよう、「地域支え合い推進員」を育成するための研修を行います。<br>●地域サロン支援者研修会などの機会を通じて、支援者や地域支え合い推進員の必要性を市民と共有していきます。 |
| 関連事業 | 地域介護予防活動支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | 支援者研修会では、レクリエーション体験、防災士による講話、認知症サポーター養成講座を３回実施し、支援者として必要な知識や技術の習得に繋がった。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | |
| 下半期の具体的対応・改善策 | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 中島 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 64 |
| 基本方針 | ６　生きがいづくりや社会参加の促進 |
| 施策の方向 | ③ 元気高齢者の活躍できる場の確保・就労の促進（ア シルバー人材センターの活動支援） |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●高齢者の働く機会を確保するとともにその能力を生かした活力ある地域社会づくりに資するため、シルバー人材センターの事業活動を支援します。シルバー人材センターとの協議を行い、業務内容の拡充を図り、より多くの高齢者が能力を生かす場を得られるようにしていきます。 |
| 関連事業 | シルバー人材センター支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・シルバー人材センターへ補助金を交付し、活動の支援を行っている。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | ・運営補助を行っているが、事務経費の増加や会員不足等により運営が困難になっているとの相談がある。市としては、広報のやり方や運営について助言を行っている。 |
| 下半期の具体的対応・改善策 | ・手数料や賃金の見直し等は令和８年度から改善されているが、会員確保の広報や新たな職の開拓に引き続き努めていただき、高齢者の働く場につながるよう連携していく。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/高齢者支援係 |
| 担当者名 | 中島 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 64 |
| 基本方針 | ６　生きがいづくりや社会参加の促進 |
| 施策の方向 | ③ 元気高齢者の活躍できる場の確保・就労の促進（イ 就労的活動支援コーディネーターの配置 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●就労的活動の場を提供できる民間企業・団体等と就労的活動の取組を実施したい事業者等とをマッチングするための人材として、就労的活動支援コーディネーターの配置も視野に入れつつ、継続して、シルバー人材センターやハローワーク等の連携を図り、高齢者の能力に応じた就労の確保につながるよう支援します。 |
| 関連事業 | |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・シルバー人材センターやハローワーク等との連携<br>・介護事業所等でお手伝いをしたい高齢者と事業所とのマッチング | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☑ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | ・就労的活動支援コーディネーターの配置の検討については、他職種の人員確保も厳しい中ではなかなか進まない。<br>・現役で働いている高齢者も多く、マッチングできるような人材が少ない。 |
| 下半期の具体的対応・改善策 | ・引き続き、高齢者の能力に応じた就労の確保につながるよう、介護事業所やシルバー人材センター、ハローワーク等と連携し支援していく。<br>・介護人材確保ポイント事業を活用した、元気高齢者の介護事業所等での活動も行われていることから、引き続きチラシを配付する等広報に努める。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/介護保険係、高齢者支援課/高齢者支援係 |
| **担当者名** | 秋山 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 67 |
| **基本方針** | ７　介護サービス提供基盤の確保・充実 |
| **施策の方向** | ① サービス提供基盤の整備 |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●ひとり暮らし高齢者世帯や老老高齢者世帯が増加していることから、認知症の方や高齢者が要介護状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で継続して日常生活を送れるよう、在宅や広域型サービス事業所との連携を図りながら、地域密着型サービスによる支援体制を継続的に行います。<br>●高齢者が要介護状態になっても、可能な限り住み慣れた地域でのサービス利用に繋げるため、事業所や居宅介護支援事業所と連携を図り、サービス調整を行うとともに、利用者の状態に合わせた多様なサービス提供体制づくりを行います。<br>●介護事業所等において、感染症や自然災害が発生した場合であっても、利用者に対して必要なサービスが安定的・継続的に提供されるよう、事業所が策定する業務継続計画における訓練（シミュレーション）の実施等を支援します。 |
| **関連事業** | 通所型サービス・訪問型サービス |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | ・介護サービス事業者等の光熱水費、燃料代の支援「物価高騰対策事業」による補助金支給 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 地域密着型事業所数 | 11 | 11 | 12 |
| | | | | |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☑ | S．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | A．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | B．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | C．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | |
| **下半期の具体的対応・改善策** | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/介護保険係、地域支援課/協働推進係、経済観光課/商工政策係 |
| 担当者名 | 秋山 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 68 |
| 基本方針 | ７　介護サービス提供基盤の確保・充実 |
| 施策の方向 | ② 介護人材の確保及び資質の向上（ア 事業者の人材確保・育成に対する支援） |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●県や介護事業所と連携し、介護職の人材確保に関する取組や、介護従事者の処遇改善加算の取得支援の取組を行い、新規就業者の獲得を目指します。あわせて、多様な人材の確保、離職防止・人材育成のため、補助事業等を活用した介護事業所の支援を行います。<br>●事業者の人材確保・育成に対する支援のため、鹿児島県社会福祉協議会等が開催する各種研修への支援や各種資格取得のための支援を行います。<br>●介護人材については、高齢化の進展に加え、過疎化に伴う人口減少が進むなか新たな人材を確保するため、移住施策や雇用施策と連携し、西之表市介護人材確保対策事業を実施することで、UIターン者や市内在住の有資格者等、人材確保の支援と就労機会の確保を行います。<br>●多様な人材の確保、離職防止・人材育成のため、外国人の就労支援や介護ロボットの導入支援などの国・県の補助事業等を活用した介護事業所の支援を行います。<br>●地元の中高校生等、若い世代に対しては、福祉・介護の仕事の魅力を伝え、地元での就業につながるような支援策を検討し、将来の人材を育てる取組を推進します。 |
| 関連事業 | 西之表市介護人材確保対策事業、雇用充足促進事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・補助金や奨励金の支給（介護人材確保対策事業補助金など）<br>・SNSを活用した西之表市人材確保対策事業の周知・広報<br>・集団指導において県人材確保対策事業メニューの周知 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | |
| 下半期の具体的対応・改善策 | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/高齢者支援係、高齢者支援課/介護保険係 |
| **担当者名** | 山中・佐々木 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 68 |
| **基本方針** | ７　介護サービス提供基盤の確保・充実 |
| **施策の方向** | ② 介護人材の確保及び資質の向上（イ 介護スタッフの専門性向上に向けた研修） |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●地域包括支援センターと連携し、居宅介護支援事業所、介護事業所が一体となって自立支援に向けて取り組めるよう、ケアマネジメントプロセスの理解を深めるスキルアップを目的とした研修会を実施します。 |
| **関連事業** | 介護給付等費用適正化事業、包括的支援事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | ・ケアプラン自己点検やシステム移行における勉強会、グループワーク等を実施し、知識や質の向上に努めた。<br>・居宅介護支援事業所等研修会については、月1回の開催となっていたが、多職種研修会を別途開催していることや、参加する事業所の専門員の負担軽減等考慮し、R8年度から定期的な開催（2か月に1回程度）とした。 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 居宅介護支援事業所等支援会 | 6回 | 3回 | 3回 |
| | | | | |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☑ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | |
| **下半期の具体的対応・改善策** | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/介護保険係 |
| 担当者名 | 秋山 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 69 |
| 基本方針 | ７　介護サービス提供基盤の確保・充実 |
| 施策の方向 | ③ 介護現場の生産性向上に向けた支援 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●指定申請や指定更新、運営指導等において、人員配置に関する資格証等を代替で確認できる場合の添付資料削減等により、介護分野の文書作成等に係る負担軽減を図るとともに、事業所における介護ロボット・ICT の活用に向けた取組に対し支援を行います。<br>●介護事業所における各種届出の効率化を図るため、電子・届出システムの整備を行うとともに、介護事業所及び居宅介護支援事業所の負担軽減のため、ケアプランデータ連携システムの導入について支援を行います。<br>●介護ロボット導入については、介護事業所のニーズ調査を行うとともに、国の事業の紹介を継続して行います。 |
| 関連事業 | |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ・電子申請・届出システムを原則化<br>・かごロボと連携した介護テクノロジー出張展示相談会の開催（R8.8）<br>・介護事業所向け生産性向上セミナーを開催（R8.11予定） | | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | | |
| | ☑ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | 介護テクノロジー出張展示相談会は、初めて熊毛地区で開催されることとなった。介護事業所における生産性向上の取組に寄与すると期待したが、参加事業所は少なかった。国や県、介護労働安定センター、県介護生産性向上総合センター（かごロボ）等が主催するオンラインセミナーは、いずれも参加事業所が低調。 |
| 下半期の具体的対応・改善策 | 介護現場の生産性向上に向けた様々な取組の必要性を熱量をもって伝える必要があり、講師を直接招くことで研修会の参加率向上を図る。また、多くの参加を実現するため、ハイブリッド形式（対面及びウェブ）でく受講しやすい環境を整えて開催する。事業所間の情報交換会も開催したい。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/介護保険係<br>（広域事務組合認定審査係） |
| **担当者名** | 岡山 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 74 |
| **基本方針** | ８　介護保険事業の適正な運営 |
| **施策の方向** | ① 介護保険給付の適正化 |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●第9 期計画における国の指針に基づき、現行の適正化主要５事業を再編し、「住宅改修の点検」、「福祉用具購入・貸与調査」を「ケアプラン点検」に統合し効率化を図ります。これに「要介護認定の適正化」、「医療情報との突合・縦覧点検」を組み合わせた３事業を給付適正化主要事業として重点的に取り組みます。 |
| **関連事業** | 介護給付等費用適正化事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | (1) 認定審査会委員、認定調査員、関係職員の研修参加（認定調査員と関係職員分は実施済、委員分年度内に実施予定）<br>(2) 認定調査票の特記事項の確認（随時実施） | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | ①要介護認定の適正化<br>要介護認定における重度変更率の平準化 | 8.0% | 8.0% | 8.8% |
| | | | | |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | 要介護認定重度変更は、申請者個人の実情に合わせて行うものでありコントロールしにくい。R8は、9月末現在で上記のとおり比較的目標値に近い数値に抑えられているが、直近の実績（R6：13.47%、R7：11.95%）であったため、年度末は10～11%程度と予想される。 |
| **下半期の具体的対応・改善策** | 今年5月提出の「第9期計画事業振り返りシート」にて、実績値を考慮しての「当面は、10%または11%の現実的目標を掲げる。」としており、これに限定すれば達成の見込である。今後とも、引き続き並行して、研修への参加、認定調査票の特記事項の確認等の取組を強化し、重度変更率に係る実績を目標値に達するよう努める。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/介護保険係 |
| 担当者名 | 水口 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 74 |
| 基本方針 | ８　介護保険事業の適正な運営 |
| 施策の方向 | ① 介護保険給付の適正化 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●第9 期計画における国の指針に基づき、現行の適正化主要５事業を再編し、「住宅改修の点検」、「福祉用具購入・貸与調査」を「ケアプラン点検」に統合し効率化を図ります。これに「要介護認定の適正化」、「医療情報との突合・縦覧点検」を組み合わせた３事業を給付適正化主要事業として重点的に取り組みます。 |
| 関連事業 | 介護給付等費用適正化事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | ケアプラン点検を通して、ケアマネジャーと保険者の共通意識をもつことで、ケアマネジメントの質の向上・維持に取り組む。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | ②ケアプラン点検<br>ケアプラン点検数 | 4事業所 | 2事業所 | 0事業所 |
| | ケアマネジメント研修 | １回/年 | 0回 | 0回 |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☑ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | ケアプラン点検については、運営指導を実施した居宅介護支援事業所も対象としており、運営指導で指摘した部分が改善されているかも評価項目としているため、下半期に他の事業所と同じスケジュールで実施している。<br>ケアマネジメント研修は講師を招き、実施することとしているが講師とのスケジュール調整面で下半期となっている。 |
| 下半期の具体的対応・改善策 | ケアプラン点検は、ケアマネジャーの気づきを促し、ケアマネジメントの質の向上を図っていく。<br>生産性向上、事業所での事務負担軽減を目的とした研修を開催し、ケアマネジャーだけでなく、介護サービス事業所で働く従事者全体の効率化を図っていきたい。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/介護保険係 |
| **担当者名** | 水口 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 74 |
| **基本方針** | ８　介護保険事業の適正な運営 |
| **施策の方向** | ① 介護保険給付の適正化 |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●第9 期計画における国の指針に基づき、現行の適正化主要５事業を再編し、「住宅改修の点検」、「福祉用具購入・貸与調査」を「ケアプラン点検」に統合し効率化を図ります。これに「要介護認定の適正化」、「医療情報との突合・縦覧点検」を組み合わせた３事業を給付適正化主要事業として重点的に取り組みます。 |
| **関連事業** | 介護給付等費用適正化事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | ・施工前現地確認の立ち会い<br>・リハビリ専門職が関与することで改修内容の助言、提案を行う | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | ③住宅改修の点検<br>施工前現地確認 | 100% | 100% | 100% |
| | リハビリテーション専門職関与による点検 | 15% | 50% | 41% |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | |
| **下半期の具体的対応・改善策** | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/介護保険係 |
| **担当者名** | 水口 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 74 |
| **基本方針** | ８　介護保険事業の適正な運営 |
| **施策の方向** | ① 介護保険給付の適正化 |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●第9 期計画における国の指針に基づき、現行の適正化主要５事業を再編し、「住宅改修の点検」、「福祉用具購入・貸与調査」を「ケアプラン点検」に統合し効率化を図ります。これに「要介護認定の適正化」、「医療情報との突合・縦覧点検」を組み合わせた３事業を給付適正化主要事業として重点的に取り組みます。 |
| **関連事業** | 介護給付等費用適正化事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | 購入・貸与品目が利用者の身体面、環境面に対して適切かをリハビリ専門職と同行し確認、助言を行う。 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | ④福祉用具購入・貸与の調査 | 24 件 | 10件 | 0件 |
| | | | | |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☑ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | 購入者については、購入してから3～6月経過後、貸与者については国保連合会から毎月送付される帳票を基に対象者を抽出しているが、対象月を9月としているため上半期には抽出ができない。また、利用者、ケアマネジャー、保険者のスケジュール調整等の事務負担も大きいため、目標件数の検討も必要である。 |
| **下半期の具体的対応・改善策** | 12月に調査を実施する予定としているが、対象者の抽出が困難で目標としている24件を達成できるかは不明なため、10期計画では目標件数の修正も含めて、調査方法を検討する必要がある。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/介護保険係 |
| 担当者名 | 水口 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 74 |
| 基本方針 | ８　介護保険事業の適正な運営 |
| 施策の方向 | ① 介護保険給付の適正化 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●第9 期計画における国の指針に基づき、現行の適正化主要５事業を再編し、「住宅改修の点検」、「福祉用具購入・貸与調査」を「ケアプラン点検」に統合し効率化を図ります。これに「要介護認定の適正化」、「医療情報との突合・縦覧点検」を組み合わせた３事業を給付適正化主要事業として重点的に取り組みます。 |
| 関連事業 | 介護給付等費用適正化事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | 運営指導の対象事業所の選定、サービス事業所の給付の整合性、福祉用具貸与の適正利用等を国保連の帳票から確認する。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | ⑤縦覧点検<br>縦覧点検分析結果を適正化事業に活用 | 12回 | 6回 | ５回 |
| | | | | |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | |
| 下半期の具体的対応・改善策 | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/介護保険係 |
| **担当者名** | 水口 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 74 |
| **基本方針** | ８　介護保険事業の適正な運営 |
| **施策の方向** | ① 介護保険給付の適正化 |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●第9 期計画における国の指針に基づき、現行の適正化主要５事業を再編し、「住宅改修の点検」、「福祉用具購入・貸与調査」を「ケアプラン点検」に統合し効率化を図ります。これに「要介護認定の適正化」、「医療情報との突合・縦覧点検」を組み合わせた３事業を給付適正化主要事業として重点的に取り組みます。 |
| **関連事業** | 介護給付等費用適正化事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | 健康保険課レセプト係と連携し、医療と介護の給付実績の統合点検を行う。 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | ⑥医療情報との突合<br>医療給付情報突合リストによる点検 | 100% | 100% | 100% |
| | | | | |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☑ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | |
| **下半期の具体的対応・改善策** | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| 所管課名 | 高齢者支援課/介護保険係 |
| 担当者名 | 水口 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| 関連ページ | 74 |
| 基本方針 | ８　介護保険事業の適正な運営 |
| 施策の方向 | ① 介護保険給付の適正化 |
| 取組方針と主な取組（目的・狙い） | ●第9 期計画における国の指針に基づき、現行の適正化主要５事業を再編し、「住宅改修の点検」、「福祉用具購入・貸与調査」を「ケアプラン点検」に統合し効率化を図ります。これに「要介護認定の適正化」、「医療情報との突合・縦覧点検」を組み合わせた３事業を給付適正化主要事業として重点的に取り組みます。 |
| 関連事業 | 介護給付等費用適正化事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①今年度の主な取組 | 見える化システムを活用し、同規模自治体と比較・分析を行う。 | | | |
| ②取組の数値目標と実績 | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | ⑦適正化事業の体制強化<br>見える化システムを活用した地域間分析 | １回/年 | 0回 | 0回 |
| | 取組に対する目標達成状況の公表 | ２回/年 | 1回 | 1回 |
| | | | | |
| ③進捗度評価 | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| 上半期の主な課題・遅延要因 | |
| 下半期の具体的対応・改善策 | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/介護保険係 |
| **担当者名** | 内村 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 76 |
| **基本方針** | ８　介護保険事業の適正な運営 |
| **施策の方向** | ② 円滑な運営のための体制づくり（ア 介護保険制度の周知・積極的な情報提供） |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●制度の内容、仕組みや様々なサービスの利用方法など、適正なサービスの利用につながるよう、分かりやすいパンフレットを配布するとともに、ホームページを活用して周知広報活動を行います。 |
| **関連事業** | |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | ・パンフレット「わたしたちの介護保険」を９月に発行し、介護保険制度や事業内容について広く周知を行った。 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☑ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | ・パンフレット「わたしたちの介護保険」は内容は充実しているもののページ数も多く印刷に費用がかさむことから、より多くの市民に配付するためには、工夫が必要。<br>・ホームページやSNS、広報誌など複数の方法による周知が必要。 |
| **下半期の具体的対応・改善策** | ・ホームページやSNS、広報誌など、複数の方法による制度周知を実施する。 |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/介護保険係 |
| **担当者名** | 秋山・水口 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 76 |
| **基本方針** | ８　介護保険事業の適正な運営 |
| **施策の方向** | ② 円滑な運営のための体制づくり（イ PDCA サイクルの確立による効果的な事業運営） |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●計画のなかで定めた取組と目標について、事業の達成度や進捗を評価し、事業の改善の必要性を考察します。また、その評価結果を介護保険事業運営協議会において報告するとともに、ホームページを活用して市民に公表します。 |
| **関連事業** | 介護保険計画策定運営事業、地域包括支援センター運営事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | 「第９期介護保険事業計画」の主要事業の自己評価を年２回実施<br>5月にR7年度実績を踏まえた自己評価結果をホームページへ掲載。令和8年度上半期の自己評価（中間評価）を行い、2回目の評価を11月頃に公表する予定。 | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 施策の達成状況の公表<br>（ホームページ） | ２回 | 1回 | 1回 |
| | | | | |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☑ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☐ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | |
| **下半期の具体的対応・改善策** | |

# 令和８年度 介護保険事業計画 中間評価（上半期進捗）記入シート

| | |
|---|---|
| **所管課名** | 高齢者支援課/介護保険係 |
| **担当者名** | 秋山・水口 |

## １．基本情報

| 項目 | 第９期計画書の記載内容 |
|---|---|
| **関連ページ** | 77 |
| **基本方針** | ８　介護保険事業の適正な運営 |
| **施策の方向** | ③介護事業所の適正運営に向けた取組 |
| **取組方針と主な取組（目的・狙い）** | ●地域密着型サービス事業者及び居宅介護支援事業者の指定業務を行います。指定した事業者に対して、介護サービス事業者等の育成・支援を目的に運営指導を行い、必要な場合は監査を実施します。また、運営指導時に、介護事業所等において策定している災害対策計画に係る対応策、必要な物資の備蓄、訓練等の実施状況を確認するとともに、非常時における支援について、関係機関と連携を図ります。なお、運営指導のほかに、集団指導を開催するなど、ケアマネジメントプロセスが適正に行われているか、人員・運営基準に違反していないか、職員の資質向上を図り適切な指導・監査を実施します。 |
| **関連事業** | 介護給付等費用適正化事業 |

## ２．上半期実績および進捗自己評価

| 項目 | 振り返り内容 | | | |
|---|---|---|---|---|
| **①今年度の主な取組** | 集団指導の実施（R8.10予定）※R8年度の予定事業所は4事業所<br>運営指導の実施（R8.9実施） | | | |
| **②取組の数値目標と実績** | 評価指標 | 年間計画・目標 | 上半期目標 | 上半期実績 |
| | 運営指導（居宅介護支援事業所・地域密着型事業所）実施事業所数 | 5 事業所 | 4事業所 | 4事業所 |
| | 集団指導（居宅介護支援事業所・地域 | 100% | 100% | 0% |
| | | | | |
| **③進捗度評価** | ☐ | Ｓ．順調（目標達成） | | |
| | ☑ | Ａ．概ね順調（80%以上） | | |
| | ☐ | Ｂ．少し未達（50～79%） | | |
| | ☐ | Ｃ．大幅未達（50%未満） | | |

## ３．課題分析および下半期に向けた軌道修正策（定性コメント）

| | |
|---|---|
| **上半期の主な課題・遅延要因** | |
| **下半期の具体的対応・改善策** | |